

平成 24 年 10 月定例記者会見要旨(平成 24 年 9 月 26 日開催)

## 市長発言内容

### 1. 市立病院の移転整備に伴う本体工事の入札が不調のようだが今後の見通しは。

7月19日および9月19日に市立病院新築工事について制限付き一般競争入札を行った結果、2回ともに不調となった。2回目の入札不調を受けて、現在、最低入札額を提示した業者と随意契約に向けて、鋭意交渉を行っている。

不調となった原因については、東日本大震災の復興関連事業の影響や、四国内において病院建設が相次いでいることによる人手不足等により、今年度に入ってから建築技術者や労務人件費の単価が急騰しているのではないかと推測される。

今後のスケジュールへの影響について、7月19日の入札が不調になったことにより、現時点で計画より2カ月程度工事着工が遅れている。今後、工事施行業者の協力を求める中で、完成時期ができるだけ遅れないよう最善の努力をしてみたい。

随意契約に向けての交渉が不調となった場合には、設計の見直しを行い再々度の入札を行う。必要があれば補正予算を組むかもしれない。仮に12月市議会に補正予算を計上する場合、議会終了後、入札手続きに一定の期間を要するのでさらに半年近く遅れる。

### 2. コスモ石油坂出製油所の閉鎖の発表後、跡地利用についての動きは。

跡地利用については、県、市、コスモ石油とで備蓄タンク事業や発電事業、その他自然エネルギー事業などさまざまな利用方法を検討、協議していくことになっている。今のところは具体的な進展はない。

コスモ石油としても、10カ月後の来年7月末の精製施設閉鎖となることから、跡地利用以外にも雇用など多くの課題を抱えており、その対応に追われているようである。雇用についてはなるべく多くの方が坂出市に残ることができるよう要望したい。

番の州工業地帯および重要港湾である坂出港全体で何が出来るのか考える中で、跡地利用についても考えていきたい。